

会議録：令和2年度 第3回明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会（要旨）

日時：令和3年3月19日（金）

場所：恵那市役所 災害対策室

1. 開会

○事務局：本協議会規約第7条第2項（協議会員出席者18/21人中）により会議は成立していることを宣言。

コロナ対策で90分以内に終わることに努めたい。

2. あいさつ

○会長：前の2回は書面決議でご不便をおかけした。

今年は公共交通にとって大変な一年であった。ひとつ良いことがあるとすれば、コロナ後を見据えて利用者をどう確保するか、見直すきっかけとなった。

■報告事項

1 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

○事務局：資料1説明

○平和コーポレーション：上矢作線の運行をしているが、令和2年3月から学校が休みとなり、定期券も売れず厳しい数字となった。しかしながら、恵那市で行われている高齢者の向け100円券が出控え刺激したのか、令和3年3月は上り調子になりつつあるという報告を受けており、これは明るい兆しである。

○岐阜運輸支局：全国的にコロナ禍で施策が進まない中、下部組織により恵那市についての計画を作られたことについては評価したい。ぜひここで書かれた取り組みを次年度以降進めていただきたい。

○名古屋大学：私は評価委員であるが、評価の際は発言を控えていた。

地域公共交通活性化再生法の改正に伴い、「総動員」「マーケティング」「MaaS」という言葉が出てきた。「公共交通網」から「サービス」という言い方変わった。その点でこの協議会では、鉄道もありフィーダーもあり、全国的に進んでいると思う。ぜひ引き続きやっていっていただきたい。

2 恵那市地域公共交通計画について

○事務局：資料2説明

○明知鉄道：この計画の「コンシェルジュ」など、今後詰めていきたいと思う。

3 営業路線（蛭川線、中津川線）の廃止に伴う代替手段について

○事務局：資料3説明

○東濃鉄道：3月31日をもって2路線の廃止をご承諾いただいた。運転手不足を理由として申し出したが、コロナ禍も加わって厳しい現状がある。今後はこういうことがないよう、精いっぱい努力していきたい。

○名古屋大学：「廃止を承諾する」という根拠が明確ではない。路線廃止は地域公共交通会議で承諾することになるのだが、どういう人が乗っていて、どういう利用があって、代替手段はどうするのか、その結果をもって承諾するものだ。

「廃止の承諾」は岐阜県の協議会で承諾とのことだが、その場合は自治体が承諾し協議会で認められれば30日で廃止ができる（ただし廃止は申し出後、6カ月で自動的に廃止できる）。

2市の地域公共交通会議での検討は見られない。中津川市では代替措置を検討しているので廃止を承認していることが推測されるが、恵那市では一切検討がない。法令上は問題ないが、地域公共交通会議が形骸化してしまう問題がある。

以上は地域公共交通会議についてだが、当協議会の役割としては、新しい網形成計画について46ページに2路線らしきものが描かれているが、これは変更すべきではないか。

この2路線は「地域間幹線系統」から外れたときから黄色信号であったため、準備してほしいと申し上げてきた。私の力不足を感じている。

地域公共交通活性化再生法の改正で「地域旅客運送サービス継続事業」が出てきたと思うが、まさにこのような路線を念頭にしている。

○事務局：法的に問題はないとのことだが、今後は地域公共交通会議できちんと議論していきたい。ここまでに至るまでには、住民説明会も開いてきた。会議で議論ができなかったのは反省したい。恵那市には利用者の少ない路線が数多くあり、ぜひ補助をもらえるようにしていきたい。

○岐阜県：この件については小部会を開いて、検討を行ってきた。中津川線については、中津川市の自主運行バスと東鉄バスの新設路線に代わり、接続もされているようだ。利用状況や住民の要望を聞いて、乗り継ぎしやすいようにしていただければと思う。

○名古屋大学：代替措置を確保したことについては大変ありがたいと思っている。地域公共交通会議の目的が、事業者だけで考えるのではなく、公開して議論することである。制度ができて15年も経って、私が担当している会議において十分伝えられていなかったのは私自身反省している。

■協議事項

1 第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の一部改正について

- 事務局：資料4 説明
- 名古屋大学：2路線の廃止に伴い、「広域幹線」という言葉と実態が異なってくると思う。73ページの目標設定について、数字や定義を改めてもらいたい。
- 事務局：改めたい。改め方については事務局に一任いただければと思う。
- 議長：改めた後にはぜひ委員に配布してほしい。これで承認で良いか。
<承認>

2 令和3年度の活動方針（案）について

- 事務局：資料5 説明
- 岐阜県：MaaSについて県の補助があるので、ぜひ活用してほしい。
コロナ禍でバス・鉄道は非常に厳しいと思うので、それについて県としても減少分を補うような支援を考えている。
- 議長：これで承認で良いか。
<承認>

3 その他

- 事務局（中津川市）：「明知鉄道恵那駅でデジタルサイネージによる鉄道とバスの発車案内表示を開始しました」説明
- 明知鉄道：恵那駅に整備してもらって感謝している。お客様にとって鉄道とバスの情報が一度に得られるのは良いことだ。
- 名古屋大学：今日見てきた。GTFSから取得するため、JRの発車も入れてほしい。運休や遅れには対応できない問題があるので、遅れをコメント表示できる機能があるとよい。
恵那病院や岩村駅にも設置してほしいが、この仕組みのコストはどのくらいか。
- 事務局（中津川市）：モニターは既存のものを使ったため費用はかかっていない。パソコンが5万円、マウスなど入れて10万円以下だろうか。岩村・明智駅に設置する場合はモニターが必要だ。恵那駅は発車しかないので遅れが発生しないが、岩村だと遅れに対応しないとイケないため、位置情報を入れるとなるともう少しお金がかかる。
- 名古屋大学：バスについては、バス路線の番号が振り分けられている。「○○線」という表示ではどうしてもわかりにくいいため、この番号もぜひ活用してほしい。できれば車両にも番号を付けてほしい。
- 事務局：今後、デジタルサイネージを増やしていくとともに、バスにも路線番号を表示することをバス会社と検討している。
- 岐阜運輸支局：「中部地区交通事業者の令和2年の対前年比輸送実績について」「春の新生活も「あんしん・安全な」公共交通で！」「安全性確保対策が必要と判定したバス停留所リストを公表」説明
コロナワクチン接種実施計画の中で、旅客輸送が出てくるのであれば支局に連絡して

ほしい。

- 事務局：恵那市内はすべて B ランクだ。以前から認可されている停留所であるものの、交通事情が変わってきたものと思う。調整については、近日中に道路管理者や警察や交通事業者と連携して、検討していきたい。一部バス停は既に調整中である。交通量の多いところから優先順位をつけていったり、バス停への掲示や車内での案内放送を進めていく。
- 事務局（中津川市）：2月25日に机上で確認をして、必要な場所では現地確認をして、33か所がリストに残っている。それを一つずつ対応していく予定だ。